

経済トピックス 2024年10月

茨城県内

- 1日 いばらき観光キャンペーン推進協議会とJR東日本水戸支社は、「茨城アフターデスティネーションキャンペーン（アフターDC）」を実施（～12月31日）、昨年秋の茨城DCの成果のレガシー化を目指し各種企画・イベントを展開
- 3日 茨城県は、茨城県産シラス新ブランド「常陸乃国しらす」を発表、しらす加工品のきれいな曲線を示す「『し』字率95%以上」など厳格な4つの基準を設定し、最高級品のしらすとして売り込み
- 8日 茨城県人事委員会は、県職員の月例給とボーナスを上げることが勧告、引上げ額は月例給の平均が9,869円（2.62%）、ボーナスが0.10か月分（年4.50月→4.60月）で、ともに3年連続の引上げ
- 11日 関東農政局によれば、茨城県の2024年産水稻の作付面積は73,500haと前年に比べ▲800haの減少、作柄の良否を表す作況指数（9月25日現在）は104で「やや良」
- 12～14日 茨城県は、県を代表する新たな「ご当地グルメ」を決定する「シン・いばらきメシ総選挙2024～市町村対抗 いばらき最強グルメ決定戦～」を開催、「一般料理部門」で「シン・茨城あげそば ～パリッ！ カリッ！ 5つの味変シン食感～（五霞町）」、「スイーツ部門」で「ダイヤモンドブラン（小美玉市）」がグランプリを受賞
- 17日 茨城県は、2025年度「予算要求の基本方針」を公表、要求限度額について、一般行政費等は24年度当初予算と同額以内とする一方、義務的経費等や公共事業費は所要額を認めるほか、重要施策に要求上限を設けない「新しい茨城づくり特別枠」は8年連続で継続
- 25日 茨城空港は、エアロKによる「茨城～清州」（2024年12月3日～25年3月4日）連続チャーター便の初運航を公表、春秋航空による「茨城～上海」、「茨城～西安」便の24年12月24日からの運航再開を公表
- 29日 茨城労働局によれば、2025年3月に卒業予定の県内高校生の就職内定率（24年9月末現在）は65.3%と前年同期に比べ▲0.6ポイントの低下、求人倍率は2.94倍と同▲0.08ポイントの低下
- 30日 茨城空港は、株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）による、「茨城～出雲」、「名古屋～茨城」（2025年1月24日～26日）チャーター便の運航を公表

国内・国外

- 1日 第214回臨時国会を召集。石破茂自民党総裁が第102代首相に選出され、石破内閣が発足
- 1日 日本銀行「短観－2024年9月－」によれば、大企業製造業の業況判断DIは13と6月調査に比べ横ばい、非製造業は34と同+1Pの改善。企業の物価見通し（全規模全産業、前年比）は、1年後+2.4%（6月比横ばい）
- 8日 財務省によれば、2024年8月の経常収支は、3兆8,036億円と前年に比べ1兆5,099億円黒字幅が拡大。貿易収支は▲3,779億円と同3,772億円赤字幅が縮小
- 9日 衆議院が解散。第50回衆議院議員総選挙（15日公示、27日投開票）の与党獲得議席数は215議席（自民党191議席・公明党24議席）で、全議席（465議席）の過半数（233議席）を下回る
- 10日 世界貿易機関（WTO）によれば、2024年の世界のモノの貿易量予測は前年に比べ+2.7%（23年<同▲1.1%>比+3.8P）、25年は同+3.0%
- 17日 欧州中央銀行（ECB）理事会は、中央銀行預金金利を0.25%ポイント引下げ、3.25%とすることを決定
- 22日 国際通貨基金（IMF）によれば、世界経済成長率見通しは2024年3.2%（7月見通し比横ばい）、25年3.2%（同▲0.1P）、日本は24年0.3%（同▲0.4P）、25年1.1%（同+0.1P）
- 25日 厚生労働省によれば、2021年3月卒業の新規大卒就職者の3年以内離職率は34.9%と前年に比べ+2.6Pの上昇、同高卒就職者は38.4%と同+1.4Pの上昇
- 29日 内閣府は、10月の月例経済報告で、わが国の景気は、「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」と判断を据え置き
- 30日 米商務省によれば、2024年7～9月期の実質国内総生産（季節調整済み）は前期比年率で+2.8%と10四半期連続のプラス成長（4～6月期同+3.0%）
- 30日 EU統計局によれば、2024年7～9月期の実質域内総生産（季節調整済み）は前期比年率で+1.5%と4～6月期（同+0.8%）に比べ伸び率は+0.7Pの上昇
- 31日 日本銀行は、無担保コールレート（オーバーナイト物）を0.25%程度で推移するよう促す現状の金融政策を維持することを決定